

第5学年東組 道徳科学習指導案

「よりよい学級集団を目指して」

学習指導者 岡根 平

1 学級（34名）の実態

（1）働きかけを行う自己調整力に関する実態

〔自らの学びを正確に捉える力〕

質問紙調査によると、道徳科の授業において自分が立てた目標を達成できたかどうか考えていると答えた子供は29名、新しく分かったことやできるようになったことが何か確かめていると答えた子供は31名であった。実際の授業では、振り返り場面において本時考えたことを記述してはいるが、具体的な場面を想起している子供は少ない。

（2）教科に関する学級の実態

教科に関する質問紙によると、道徳科の授業の中で「振り返りを書く時には、これまでと考えが変わったり、変わらなかったりしたかどうかを考えている」と答えた子供は27名であった。振り返りを見ると道徳科の授業で考えたことを大切にしたいと多くの子供が書いているが、行動にまで変容が表れている子供は少ない。また、「よりよい学級集団をつくるために自分が大切だと思うことは何か」という質問に対する主な答えとしては、「困っている人に声を掛ける」「友情を深める」「自分から人に関わる」「けんかをしない」「みんなで力を合わせて助け合う」などが挙げられた。

本単元で習得させたい「自らの学びを正確に捉える方法」

学習前と学習後の自分の考えを比較し、異同を捉える

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

本単元では、子供たちと学級目標を考える際、「よりよい学級にしたい」と考えていたことを想起させ、「よりよい学級集団になるためには何が必要だろう」と単元を通して考えるテーマを設定する。そして、集団宿泊学習やそれまでの学級活動、道徳科の授業を通して体験したことや考えたことを基に、テーマについて具体的な自分の考えをつくりながら、今後の学校生活に生かそうという気持ちを高めていくことを目指す。しかし、実際に宿泊学習の準備やスタンプの練習をする過程で、「うまくグループを分けられなかった」「スタンプで自分のやりたい役ができず、意見が衝突してしまった」など、よりよい集団を構築する難しさに直面するだろう。そこで、テーマについてさらに考えるために『森の絵』を読んだ子供たちは、希望した女王役になれなかったえり子の「森の絵を描く手に力が入らない」という心情に共感しつつも、それでも前向きに絵の製作に取り組もうとした姿から、「なぜ、えり子は森の絵の完成に向けて頑張れたのか」と課題を設定する。そして、「文男が自分の苦手なことでも一生懸命頑張っている姿を見て、自分も頑張らなくちゃと思ったからじゃないかな」「そうだね。したい役ができなくてつらい気持ちは私も経験したから分かるけど、自分の仕事を頑張らないとよい劇にならないと気付いたんだよ」「よりよい学級集団になるにはみんなで少しでもいいものを作ろうという気持ちが大切なんだね」「それに自分が落ち込んでいたら、選ばれためぐみも『私が悪いわけじゃないのに』と感じて雰囲気が悪くなるかもしれないよ」「友達立場に立って考えることも大切なんだね」などと、一人一人が自分の役割をしっかりと果たす大切さに気付いたり、友情や思いやりなど他の道徳的価値についても考えを広げたりしながら、集団生活を充実させるために必要なことについて理解していく。そして、「これまでは困っていたら友達を助けてあげることが大切だと思っていたけれど、それだけではなく、まず自分の係や当番の役割をきちんと果たしていこうと思った」など、これまでの考えと比べることで本時の学びを正確に捉え、単元を通して学んだことをこれからの生活に生かしていこうとする気持ちを高めていくのである。

3 単元構成の工夫

(1)【「魅力的な単元の目標」を子供たちと共有する場の設定】①

単元導入時に、「よりよい学級集団になろう」という目標を達成するために大切なものは何かについて学級活動や宿泊学習を通して考えていくことを共有し、単元のテーマを設定する。そして、現時点で自分が考える、よりよい学級集団になるために大切なことを考え、4つの火（勇気、思いやり、友情、奉仕）として集約することで、その後の活動において考えたことを分類しながら蓄積していけるようにし、それまでの体験や学習したことなどを関連付けながらテーマについて考えられるようする。

(2)【「取り組む方法を選択して、自分で学びを進める時間」の設定】④

「よりよい学級集団になるために大切なものは何か」という単元を通して考えてきた問いについて、単元の最後に自分の考えをまとめる時間を設定する。その際には、これまでの振り返りを4つの火と関連付けながら蓄積してきた心の灯火シートを見返したり、友達と考えを交流したり、方法を自分で選択することで、これからの自分の生活に生かせそうなことについてまとめられるようにする。

4 単元計画と働きかけ（本時3/4）

| 次 | 学習の流れ | 働きかけ |
|---|--|--|
| 一 | <p>① 学活 屋島集団宿泊学習の目標を立てよう</p> <p>よりよい学級集団になるために大切なことについて考えるという単元のテーマを共有し、現時点で自分が大切だと思うことについて考える。その後、屋島集団宿泊学習を通しての目標を設定する。</p> | <p>【心の灯火】</p> <p>認知② 振り返り場面において、テーマについて自分が考えたことを記録・蓄積し、これまでの自分の考えと今の考えとを比べることで、自分が新たに考えたことや、考えが深まったことに気付けるようになることを指導する。</p> |
| 二 | <p>② 学活 屋島集団宿泊学習のグループを決めよう</p> <p>屋島集団宿泊学習での活動班を決める。班決めを通して上手くいったことやいかなかったことを振り返り、よりよい学級集団になるために大切だと思ったことをまとめる。考えをまとめたカードはキャンプファイヤーの4つの火を位置付けた学習支援アプリのシートに記録する。</p> | <p>想起③④ 今日の自分の学びを正確に捉えるにはどうすればよかったか問うことで、学習支援アプリのシートを見返し、これまで自分の考えてきたことと今の考えを比べればよいという方法を引き出す。</p> |
| 二 | <p>学行 みんなに楽しんでもらえるスタンプにしよう</p> <p>グループで、スタンプで何をするか考えたり、スタンプで使う物を作ったり、練習したりする。その後、活動を通して感じたことについて②と同じように振り返る。</p> | <p>実感 授業前後の自分の考えについて比較しやすいように、これまでの学習で学んできたことや、経験して気付いたことなどを学習支援アプリ上のシートに蓄積する。その際は、4つの火を基に考えを分類しながら位置付けられるようにし、関連のある考え同士を比較しやすくする。また、これまでの自分の考えと比べたことで本時新たに考えたことや、さらに強く思ったことを捉えている姿について「授業前後の自分の考えを比べたから今日の学びを見付けられたね」などと価値付ける。</p> |
| 三 | <p>学行 屋島集団宿泊学習</p> <p>宿泊学習での各活動を通して、うまくいったことやいかなかったことを振り返る。そして宿泊学習を通して、よりよい学級集団になるために大切だと思ったことについて②と同じように振り返る。</p> | |
| 三 | <p>③ 道徳 なぜ、えり子は森の絵の完成にむけて頑張れたのか ～『森の絵』～ C：よりよい学校生活、集団生活の充実</p> <p>自分のしたい役ができなくても、絵の完成に向けて頑張ろうと思えたえり子の心情を考える。それを基に、クラスみんなが一つの目標に向かうために自分が一番大切だと思うことを選び、友達と考えたこととその理由を交流することで、今後の自己の生活について考えを深めていく。</p> | |
| 三 | <p>④ 総合 よりよい学級集団になるために必要なことは何だろう</p> <p>宿泊学習やそれに向けての活動や道徳科の授業を通して考えたことを基に、テーマについてこれまでに考えてきたことを見返したり、友達と考えを交流したりしながら自分の考えをまとめていき、これからの生活に生かしたいことを考えたり、今後考えていきたいことを見いだしたりする。</p> | |

5 本時の学習

ねらい 希望する役になれなかったえり子が絵の完成に向けて頑張れた理由を基に、よりよい学級集団になるために大切なことについて理解を深め、自らの生活に生かそうとする気持ちを高める。

| 学習活動と働きかけ | | 主な子供の意識 | | |
|------------------|---------------------------------------|---|---|---|
| 見 通 し | 1 目当てを設定する。 | <p>これまで、よりよい学級集団になるために大切なことを考えてきたね。心の灯火シートにも大切だと思うことが溜まってきたよ。今日も増やしたいな。</p> <p>屋島の際は、スタンツ決めて自分のやりたい役や出し物ができなかったな。</p> <p>えり子も自分のしたいことができなくて、やる気が出なかったんだね。</p> <p>それなのに、どうしてえり子は頑張ろうと思えたんだろう。</p> <p>やる気が無くなっていったのに、本当に頑張ろうと思えるのかな。</p> | | |
| | なぜえり子は森の絵の完成に向けて頑張れたのか | | | |
| 行 動 | 2 絵の完成に向けて頑張れたえり子的心情について考え、話し合う。 | <p>文男が苦手な裁縫を頑張っている姿を見て、自分の仕事をしっかりとやらないと劇が成功しないと思ったんだよ。</p> <p>『一緒によりよいものをつくりたい』という気持ちがあったからだ。</p> | <p>自分以外のみんなが劇に向けて頑張っている姿を見て、自分もみんなのために頑張りたいと思ったんじゃない。</p> <p>『相手の気持ちを考える』こともよりよい学級には必要なんだね。</p> | <p>自分が落ち込んでばかりいたら、めぐみは「私は悪くないのに」と感じて、学級の雰囲気が悪くなるかもと感じたのかな。</p> <p>『自分の役割をきちんと果たす』ということが大切だと気付いたんだよ。</p> |
| | <p>たくさんの思いが大きくなってえり子は頑張ろうと思えたんだね。</p> | | | |
| 振 り 返 り | 3 自分が一番大切だと思うものを選び、理由を交流する。 | <p>みんなで一つのことに向かうために、自分ならどれが一番大切にしたいかな。</p> <p>『相手の気持ちを考えること』かな。お互いのことを大切にすれば、みんなが安心して楽しく過ごせると思うよ。</p> <p>僕は『自分の役割をきちんと果たす』だ。自分のしたいことばかりだと、誰かが我慢しているはずだよ。</p> <p>私は『一緒によりよいものをつくりたい』だよ。屋島でもみんなで力を合わせたら素敵なスタンツができて嬉しかったよね。</p> <p>確かに自分だけが役割を果たしても、一人一人が力を合わせないとできないことがあるんだね。</p> <p>友達の考えを聞いて、よりよい学級になるために大切なのは、協力することだけではないんだね。</p> | | |
| | 4 本時の学習を振り返る。 【心の灯火シート】 | <p>これまでの自分の考えを見返してみよう。</p> <p>グループ作りの時も、相手のことを考えて行動することが大切だと感じていたけれど、今日の勉強を通してやっぱり大切だと思ったよ。</p> <p>よりよい学級集団になるために大切なことがだんだん分かってきたよ。</p> <p>これまでは困っていたら助けてあげることが大切だと思っていたけど、それぞれが自分の役割を果たすという考えはなかったな。新しく見付けられたよ。</p> <p>これからの学校生活でも大切にして、もっといいクラスにしていきたいな。</p> | | |

評価 えり子が絵の完成に向けて頑張れた理由の中から、自分が一番大切だと思うものを選び、その理由を交流することを通して、よりよい学級集団になるために大切なことを多面的・多角的に捉え、今後の自分の生活に生かそうとする気持ちを高めている。【方法：発言、様相、記述】

6 本時の詳細

～見通し～ 学習活動 1

子供たちは本時まで『森の絵』を読んでいる。導入場面では、単元の目標を確認した後、宿泊学習を振り返って回答した事前アンケートの結果を提示し、「上手くいかなかったと感じている活動」について、なぜそう感じたか理由を尋ね、自分たちの経験を想起させる。その後、『森の絵』にも似たような場面がなかったか尋ねるとともに、その時のえり子の気持ちに共感できるか問うことで、教材と自分とのつながりを感じさせるとともに、「なぜえり子は森の絵の完成に向けて頑張れたのか」という本時の目当てを設定し、解決への意欲を高める。

| | | |
|------------------|---|--------------------|
| うまくいったこと |  | うまくいかなかったこと |
| キャンドルサービス 30/34人 | | スタンプの内容決め・練習 |
| 部屋の整理・整頓 29/34人 | | 活動などのグループ・班決め |
| いかに活動 27/34人 | | |

【事前アンケート結果】

～行動～ 学習活動 2・3

課題を設定した後は、えり子がどうして森の絵の完成に向けて頑張ることができたのかについて考えることを通して、よりよい学級集団になるために大切なものは何か、自分の考えをつかっていく。その際には、学級のために前向きに取り組み始めたえり子の気持ちの変化を捉えやすいよう天秤を使って動的に表すとともに、どんな気持ちが大きくなっていったのかイメージしやすくする。また、頑張ろうとしたえり子の中でどんな気持ちが大きくなっていった

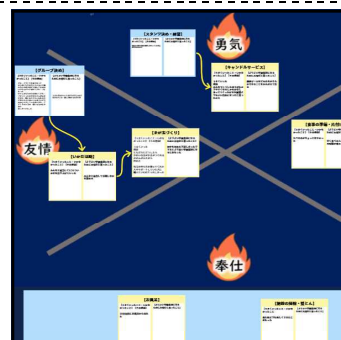


【心の天秤】

のかが分かるように整理して板書することで、よりよい学級集団になるために大切なものを見いだしやすくする。その際、適宜教師から「文男だって本当は苦手な裁縫をするのはイヤなのではないか」「森の絵が中途半端だったとしても、劇はできるのではないか」「めぐみが女王役になって悔しかった気持ちは消えたのか」などと問い返すことによって、えり子が絵の完成に向けて頑張れた理由を多面的に捉えたり、違う道徳的価値の大切さにも考えを広げたりできるようにする。そして、子供たちから出た意見を「自分の役割をきちんと果たす」「一緒によりよいものをつくろうとする」などキーワードとして整理していく。学習活動3では、キーワード化した気持ちを色分けし、その中から、よりよい学級集団になるために自分なら何が一番大切だと感じるかを選び、その理由を交流する時間を設定する。誰が何色を選んだかは学習支援アプリ上で一覧で示すことで、自分と友達の考えの異同が分かるようにする。そうすることで、自分と同じ色を選んだ友達の意見を聞いて考えを強化したり、違う色を選んだ友達の意見を聞いて考えを広げたり、目的をもって交流できるようにし、友達と考えを比べながら集団生活の充実に向けて大切なことについての理解を深めていけるようにする。

～振り返り～ 学習活動 4

振り返りは、単元を通して、「よりよい学級集団になるために大切だと思ったこと」を観点として振り返り、学習支援アプリのカードに記入している。カードを位置付けるシートには4つの火を位置付けておき、振り返った内容と関連の高い火の近くにカードを位置付けて蓄積していくことで、これまでの自分の考えと本時の考えを比べやすくする。(心の灯火シート) 自分の学びの足跡が分かるように、学活を振り返った時、宿泊学習を振り返った時、道徳科の授業を振り返った時で色が違うカードをつないでおく。



【心の灯火シート】

本時では、振り返りを記入する前に「今日の自分の学びを見付けるにはどうすればよいかな」と問い、シートを使いながら学習前後の考えを比べて異同を見付けるという方法を想起させる。そして、今日の授業で自分が考えたことと比べながら、「これまで『は』・『も』」、「これから『は』・『も』」という言葉を使い「よりよい学級集団になるために大切だと思ったこと」を振り返ることで、本時の自分の学びを捉えやすくする。